



12月の月間目標

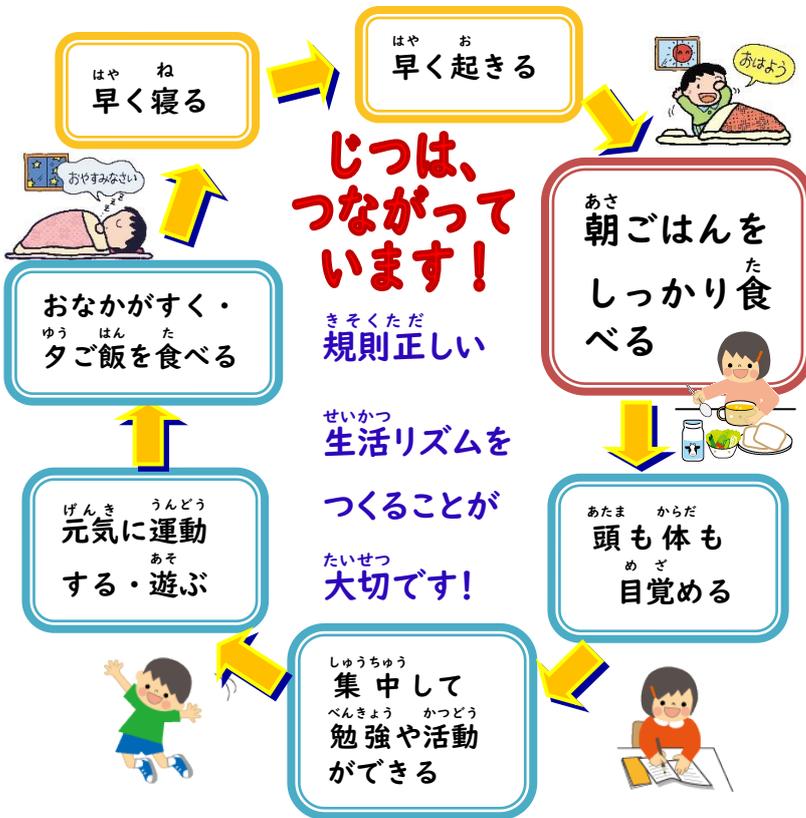


あさごはんをしっかりと食べよう！

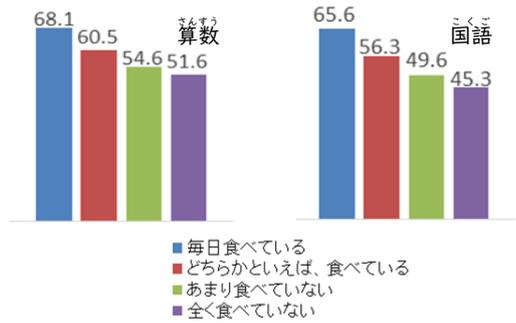
なぜ、朝ごはんを食べることが大切なのでしょう。

わたしが眠っている間も、脳は働いていて、エネルギーを使っています。そのため、朝起きた時には、脳のエネルギー源であるブドウ糖が不足しています。朝ごはんを食べることで、ブドウ糖をはじめとするさまざまなエネルギーが補給されるのです。朝ごはんを食べないと、午前中しっかりと活動できる状態にならないことも考えられます。

朝ごはんを食べて脳と体を目覚めさせ、一日を元気に過ごす習慣づくりをしましょう。



平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査結果から



上のグラフは、小学校6年生の朝食摂取と平均正答率（%）の関係を示したものです。朝食を毎日食べている子どもは、平均正答率が高い傾向にあることが読み取れます。この傾向は、中学校3年生の調査結果においても同様となっています。

【参考】小学生のための「早ね早起き朝ごはん」ガイド（「早寝早起き朝ごはん」全国協議会）

まずは、食べる習慣をつけよう！

バランスの良い朝ごはんを子どもに食べさせることは理想ですが、忙しい朝には、なかなかそうもできないものです。まずは、朝ごはんを習慣づけることから始めましょう。最初は小さなおにぎりやトースト半分からでも構いません。食べやすいものを毎日決まった時間に食べるようにすれば、自然とお腹がすくリズムができます。食べる習慣がついてくれば、フルーツを追加したりしていくとよいかもしれません。朝にバランスよく食べられなくても、一日のなかでバランスを整えば良いというくらいの気持ちで、まずは、食べる習慣をつけて、子どもが元気に一日を過ごすようにしましょう！



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日
（いきいきサンデー）」です

奈良県立教育研究所



（令和元年12月）

家庭教育Webページ